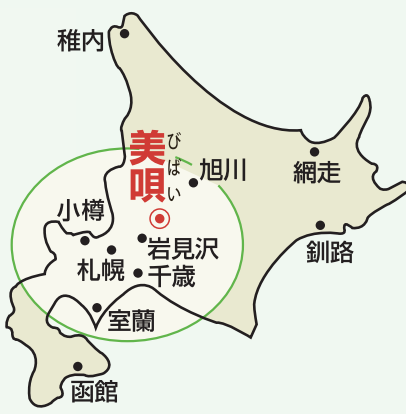
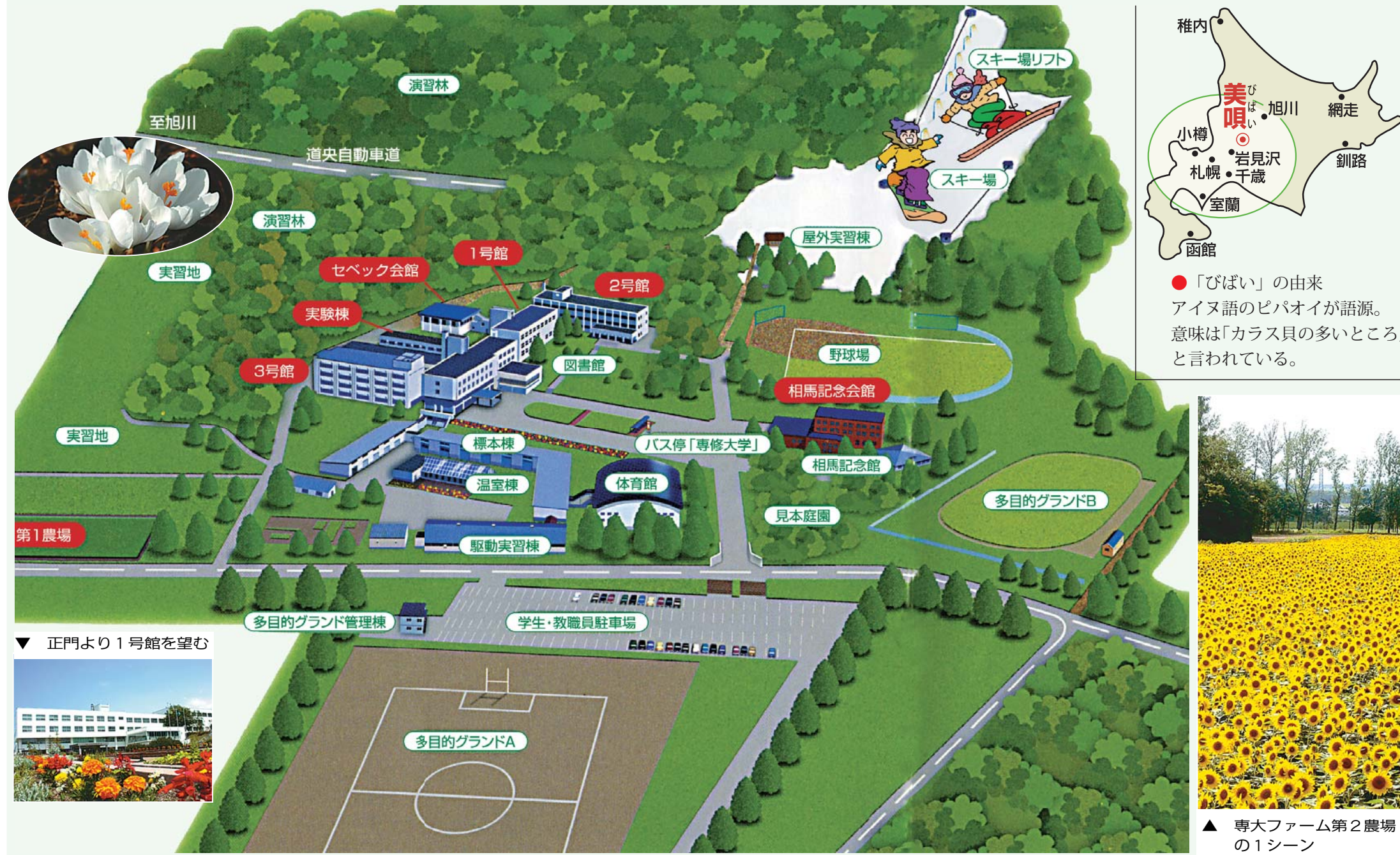


# この短大、このキャンパス、ここが魅力



●「びばい」の由来  
アイヌ語のピパオイが語源。  
意味は「カラスの多いところ」と言われている。



▲専大ファーム第2農場の1シーン



▲小学生も参加した田植え



▲農業科学系の実習も兼ねる機械植え

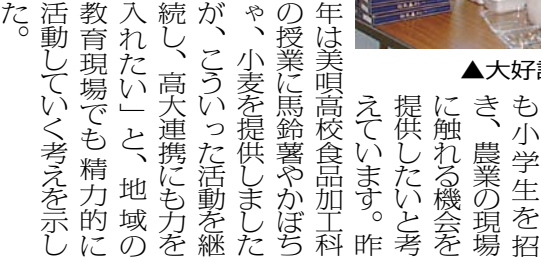
「専大ファーム」は、売の流を体験する文理年度から運営されている。特徴である農業や融合型の教育の場として、キャンパス学肥料を使わない農産物を受け、現在、JAS(日本農産物規格)に認定申請中である。

「専大ファーム」は、売の流を体験する文理年度から運営されている。特徴である農業や融合型の教育の場として、キャンパス学肥料を使わない農産物を受け、現在、JAS(日本農産物規格)に認定申請中である。

## 「有機栽培」の認定申請 無農薬、化学肥料なし

### キャンパス農場「専大ファーム」

「専大ファーム」は、売の流を体験する文理年度から運営されている。特徴である農業や融合型の教育の場として、キャンパス学肥料を使わない農産物を受け、現在、JAS(日本農産物規格)に認定申請中である。



▲大好評だった「学市学座」

## 期待のニューパワー

### サッカー部

塚本 悠弥さん (商経社会総合学科1・北海道室蘭大谷高)  
高校では駅伝メンバーで、高3の全道大会は2位でした。インカレでは得意の1500m、5000mでの入賞を目指します。

### 硬式野球部

藤井 健太さん (商経社会総合学科1・山梨県日本航空高)  
高3の夏の甲子園に出場しました。短大でレギュラーの座を確保。来年は1部昇格を目指します。専大編入学の勉強にも力を入れています。

### 柔道部

塚田 州彦さん (商経社会総合学科1・北海道滝川西高)  
5月の団体戦・北海道学生柔道優勝大会は5位で、悔しい思いをしました。秋の体重別団体戦で3位以内に入りたい。勝利に貢献したいです。

### 陸上競技部

佐藤 岳さん (みどりの総合科学科1・北海道室蘭大谷高)  
高校では駅伝メンバーで、高3の全道大会は2位でした。インカレでは得意の1500m、5000mでの入賞を目指します。

「専大ファーム」は、売の流を体験する文理年度から運営されている。特徴である農業や融合型の教育の場として、キャンパス学肥料を使わない農産物を受け、現在、JAS(日本農産物規格)に認定申請中である。

## キャンパスイベントを楽しむ

### 北鳳祭・体育祭・収穫祭

本学の学園祭。サークルやゼミによる模擬店、実行委員会によるゲーム企画、ゲストライブなどで盛り上がる。今年10月9、10日に開催予定。体育祭でソフトボール、バスケットボールなどの球技が行われる。競技後の専大ファームの収穫物を使った昼食も魅力。

### ウィンターフェスティバル

キャンパス内の野球場で行われる雪合戦や雪上サッカーなど、実行委員会が企画した雪を利用した競技を行う冬の祭典。

### ラベンダーツアー

毎年7月に行われる学生部主催バスツアーの1弾。富良野地方随一のラベンダー園「富田ファーム」で初夏を満喫する。1が行われる。

### 旭山動物園ツアー

学生部主催バスツアーの一つ。人気の旭山動物園で動物の行動展示を見学する。冬には「スキー」が行われる。

## 布川ゼミ

河川環境の保全について研究する環境緑地系・布川雅典ゼミの佐野竜司さん(みどりの総合科学科2・新潟県立三条商業高)は「学内河川での水生昆虫採取や河川での実習・調査がとてもおもしろい。将来は環境アセスメント調査に携わりたい」と話した。

## 寺本ゼミ

空知地方の地域経済を学ぶ商経社会総合学科・寺本千名夫ゼミでは、資料を読み解きながら歴史や経済の発展などを学ぶ。1年次の江頭悠太さん(福岡県東福岡高)は「通常の授業よりも先生との親睦が深まり、前向きに取り組めます」と話した。

## 足達ゼミ

環境土木系・足達健夫ゼミのテーマは「土木構造物と生態環境との関わり」。美唄市の旧市街をフィールドに、土木構造物が育む環境に着目し、調査を行う。河川生態学の布川ゼミと連携し、構造物と生態学という2つの学問領域の間で新たな研究を試みる。

## 溝延ゼミ

農業科学系・溝延学ゼミはコンパニオンプランツ(共栄栽培)が研究テーマ。野菜の近くにハーブを植え、生育にどのような影響を与えるかを研究。現在はトマトとパズル、キャベツとカモミールの組み合わせで、成長の差を調査している。

## 在学生インタビュー 学びたいこと 将来の夢

5人の在学生にゼミ・研究の楽しさ、クラブ活動、一人暮らし、資格取得、将来の夢などについて話してもらった。

### 土屋 宗輝さん

(みどりの総合科学科2・福島県高)  
「家の光」に掲載された卒業生のコメントなどを見て、実習が豊富でこの短期間で即戦力になれると感じた。入学の動機です。講義を通して、農業の専門知識を深めたいと考えています。

### 落合 浩太郎さん

(みどりの総合科学科2・北海道留萌農高)  
小さいころ、父と祖母や橋などの大型建造物を「見に行き」て遊んでいて、今「どうやって造っているんだろう」というのが、将来の夢です。

### 秋山 直人さん

(みどりの総合科学科1・北海道遠軽農高)  
高校は日本最北端の農業高校。農業に育ち、早くから農業の将来を考えてきました。高校の園芸分会でホタテ貝とタコウロ(タコ)の内臓とタコウロ(タコ)の改良の課題研究に取り組み、2年生の時、初出場した日本学校農業コンテスト全国大会の農業コンテストで、農業区で優秀賞を受賞し、3年生で同会長として再び優秀賞を獲得しました。

### 垣内 悦史さん

(商経社会総合科学科2・千葉県専修大松戸高)  
自立心を養うため、一人暮らしをしようと思いましたが、高校の先輩から勧められ、専大に入学しました。自分ですべてをやるのは大変ですが、責任を持って行動することができています。

### 佐藤 愛さん

(商経社会総合科学科1・青森県前高)  
専大をはじめ、編入学試験での実績の高さが本学を選んだきっかけです。将来は金融機関への就職を考えています。

### 溝延 健夫さん

専大の編入学制度があることも入学動機の一つでした。試験免除の成果も後押しされていると感じています。

### 寺本 千名夫さん

専大の編入学制度があることも入学動機の一つでした。試験免除の成果も後押しされていると感じています。

### 布川 雅典さん

専大の編入学制度があることも入学動機の一つでした。試験免除の成果も後押しされていると感じています。

### 足達 健夫さん

専大の編入学制度があることも入学動機の一つでした。試験免除の成果も後押しされていると感じています。

### 溝延 健夫さん

専大の編入学制度があることも入学動機の一つでした。試験免除の成果も後押しされていると感じています。

### 寺本 千名夫さん

専大の編入学制度があることも入学動機の一つでした。試験免除の成果も後押しされていると感じています。